

- 問1 江戸時代に幕府から営業の独占権を認められた商人組合のことを何という？
- 問2 19世紀の江戸時代後期に、社会不安が増大し農民が領主に対して起こした反乱や抵抗運動を何という？
- 問3 産業革命において、工場の動力源となり、大量生産を可能にした発明を何という？
- 問4 江戸時代、近畿地方などで綿花栽培が盛んになった際、肥料として用いられた魚の加工品を何という？
- 問5 江戸時代、将軍家との血縁や主従関係の深さによって分けられた大名の分類を何という？
- 問6 江戸幕府が長崎貿易で清へ輸出した、俵物と呼ばれる加工海産物の代表例を何という？
- 問7 徳川家康が開いた幕府により、約260年続いた武家政権の時代を何という？
- 問8 江戸幕府において、将軍を補佐し、幕政全般を統括した最高職の下に置かれた役職を総称して何という？
- 問9 1833年頃から数年にわたって発生し、幕府の権威が揺らぐ原因となった大飢饉のことを何という？
- 問10 工場制手工業が発展し、機械を導入することで産業革命の基盤となった生産形態を何という？
- 問11 鎖国体制下の江戸時代において、長崎に置かれた対外交流のための人工の島を何という？
- 問12 西廻り航路において、日本海沿岸から瀬戸内海へ入るための重要な拠点となった地名はどこ？
- 問13 江戸時代後期、藩の経済を立て直すために特産物の専売や産業育成を行った政治改革を何という？
- 問14 江戸時代の町人文化において、庶民に広く親しまれた、仮面や化粧をほどこした俳優が演じる日本の代表的な伝統芸能を何という？
- 問15 江戸幕府が大名を分類した際、徳川氏の一族にあたる大名を何という？
- 問16 錦絵の技術を用いて、『富嶽三十六景』などの優れた風景画を描いた人物は誰？
- 問17 江戸時代、全国の物資が集まり、商業や流通の中心地となった大坂のことを何という？
- 問18 紀元前6世紀ごろの中国で、身分の秩序や仁を重んじる教えを説き、後の東アジア思想に強い影響を与えた人物は誰？
- 問19 江戸時代、農村などで農家が副業として自分の家で行った小規模な工業生産のことを何という？
- 問20 貨幣経済が浸透した江戸時代、農村などで発達した、農業以外の生産活動を何という？
- 問21 朱印状を持って東南アジア諸国などで行われた貿易を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 株仲間	株仲間は、商人たちが組織した独占的な組合です。メンバーは「株札」を持つことで営業の権利を保証され、幕府に対して「冥加金（みょうがきん）」と呼ばれる税を支払いました。これにより経済の安定が図られました。
問2	答え 百姓一揆	農民たちは武器を手に立ち上がるだけでなく、集団で村を抜け出す「逃散」や、藩の政府へ直接訴える「強訴」などの手段をとりました。特に19世紀に入ると、都市部での打ちこわしと連動したり、大規模な武装蜂起となったりするケースが増えました。
問3	答え 蒸気機関	ジェームズ・ワットらによって改良された「蒸気機関」は、石炭を燃やして発生した蒸気之力で動力を得る仕組みです。これにより、場所を選ばずに工場を建てることが可能となり、さらに綿織物などの生産工程が機械化されたことで、飛躍的に生産効率が向上しました。
問4	答え 干鰯	干鰯（ほしか）は、イワシを乾燥させて作った肥料です。当時、農業生産性を上げるために欠かせない「金肥（購入する肥料）」として、綿花栽培が盛んだった近畿地方などで大量に消費されました。特に江戸時代中期以降、この肥料の使用が農業の収穫増に大きく貢献しました。
問5	答え 親藩・譜代・外様	徳川氏の一門である「親藩」、関ヶ原の戦い以前からの家臣である「譜代」、戦い後に従った「外様」に大別されます。特に譜代大名は幕府の要職を独占しましたが、外様大名は江戸から遠い場所に配置され、警戒の対象となりました。
問6	答え いりこ	長崎貿易において、日本は金銀に代わる輸出品として「俵物（たわらもの）」を輸出しました。これには、いりこ（なまこを干したもの）、ふかひれ、干しあわびなどが含まれ、清（中国）で高く取引されました。
問7	答え 江戸時代	この時代は、将軍を頂点に幕府が全国の大名を統制する封建社会でした。厳しい身分制度のもとで政治が行われましたが、平和な時代が長く続いたため、農村の発展や商人の台頭、町人文化の開花など経済・文化の著しい成長が見られました。
問8	答え 三奉行	「三奉行」とは、宗教や寺社を統括する寺社奉行、江戸の行政や警察を担う町奉行、財政や徴税を扱う勘定奉行の三つを指します。それぞれ重要な役割を分担し、幕府の政策を実行する中枢として機能していました。
問9	答え 天保の飢饉	天保の飢饉は、冷害と長雨による作物の不作が数年続いたことで発生しました。全国的な米不足と価格の高騰により、都市の貧民や農民は極限状態に追い込まれ、各地で大規模な一揆や、豪商の店を襲う打ちこわしが相次ぎました。
問10	答え 工場制機械工業	工場制機械工業は、蒸気機関などの機械を工場に導入し、多くの労働者が一斉に働いて製品を生産する形態です。これにより生産力は飛躍的に向上しました。
問11	答え 出島	出島は、長崎の港内に築かれた扇形の人工島です。当初はポルトガル人を収容するために建設されましたが、後にオランダ商館が移転し、江戸時代を通じてオランダとの貿易や情報交換が行われる唯一の窓口となりました。
問12	答え 下関	下関は、日本海から瀬戸内海へと航路をつなぐ際の分岐点・要衝として重要な役割を果たしました。当時の北前船などは、ここで風待ちや荷の積み替えを行いながら、大坂へと向かいました。
問13	答え 藩政改革	藩政改革は、藩の立て直しを目指した政治の刷新です。特産物を藩が買い上げて流通を支配する「専売制」や、新しい産業の育成、家臣のリストラや借金の整理などが行われました。薩摩藩や長州藩のように成功して力をつけた藩もあれば、失敗して農民一揆を招いた藩もありました。
問14	答え 歌舞伎	歌舞伎は、役者の派手な立ち回りや「見得（みえ）」と呼ばれる演技、豪華な舞台装置が特徴です。元々は女性の踊りから始まりましたが、幕府の規制によって男性のみが演じる形へと変化し、物語性の高い洗練された演劇として完成しました。
問15	答え 親藩	分類は「親藩」「譜代」「外様」の三つです。親藩は徳川家康の子たちが開いた藩（水戸・尾張・紀伊の御三家など）を指します。彼らは家格が高く、将軍に万が一のことがあった際に後継者を出す重要な役割を担っていました。
問16	答え 葛飾北斎	葛飾北斎は、錦絵の多色刷り技術を駆使し、大胆な構図で風景を描きました。特に『富嶽三十六景』などの連作は、富士山の多様な表情を捉えた芸術作品として、当時の庶民にも広く愛されました。
問17	答え 天下の台所	諸藩が大坂に米などを販売する拠点を置いたため、大坂は全国の経済の中心地となり「天下の台所」と呼ばれました。米の価格はここで決まり、金融や証券取引も発達しました。
問18	答え 孔子	孔子は「仁（思いやり）」や「礼（秩序）」を大切にし、家族のきずなや君臣の関係における上下の秩序を重んじました。その思想は弟子たちによって語録としてまとめられ、のちの儒教へと発展しました。
問19	答え 家内工業	家内工業は、主に農家が家族の労働力を使って、綿織物や布製品などの加工品を作る活動です。当初は自分たちの生活用でしたが、やがて問屋から原料を供給されて製品を納める「問屋制家内工業」へと発展しました。
問20	答え 手工業	この変化の中で、農業の合間に原料を加工して製品にする手工業が各地で発達しました。具体的には木綿織り、絹織物、酒造、醤油作りなどが挙げられます。農村における副業的な位置づけから始まり、次第に専門的な経営へと成長していくケースも多く見られました。
問21	答え 朱印船貿易	朱印船貿易は、幕府が発行した公文書である朱印状を持った船が行う貿易です。ルソン（フィリピン）やシャム（タイ）など、東南アジアの各地に拠点が設けられ、銀や銅を輸出し、生糸や砂糖、工芸品などを輸入しました。